



萱瀬中だより

校訓：自主 創造 健康

大村市立萱瀬中学校

令和7年12月3日発行

文責：校長 西野 理英

11月21日（金）三校合同発表会開催

吹奏楽、合唱、3年生発表「米作りの1年」、お米の販売。

3年生を中心に、生徒たちは本当によく頑張りました。

ご来場くださった保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。



「せっかく買ってもらうんだから心を込めて結ばないと」と言いながら販売用の米袋の紐を結んだり、米袋に貼らなくても普通に欲しいと思ってしまうおしゃれなステッカーを何パターンも作ったり、「カヤゼットと行く！幸せ街道 自転車の旅」というリーフレットやチラシを作ったり、3年生は息つく間もないほどに忙しい中、本当に頑張ってくれました。お米を買っていただいた方もご覧いただけるのですが、3パターンの動画はすごくよくできていて、校長も知らなかった萱瀬の魅力を教えてもらいました。今年度、3年生は総合的な学習の時間の内容を変更し、新しい取組をスタートさせました。3年生の生徒たちと、3年担当の先生方のチームワークと実行力がなければここまでたどり着けなかったと思います。萱瀬中の伝統である「米作り」に、生徒が主体的に参画してくれたこと、今までにない方法でふるさと萱瀬をアピールしてくれたことなど、また新たな伝統を築いてくれたことに校長として心から感謝しています。



学校運営協議会（コミュニティスクール）発足2年目の「三校合同発表会」。参観に来てくださった3校の保護者の方や地域の方は65名。オープニングの吹奏楽、萱中全校生徒による合唱、3年生の発表も萱瀬中学校生徒は全力で頑張り、観客の方々から大きな拍手をいただきました。また、今回は、「萱瀬ほたるの里保存会」の方々から、その歴史や活動、施設のこと、ほたるのことなど、貴重なお話を聞かせていただきました。



11月19日(水) 「アウトリーチコンサート」開催

時間が経つのも忘れるほど楽しいひとときを過ごしました。



リコーダーの種口さん、ファゴットの池田さん、ピアノの内田さんによるアンサンブル「プリコット」にチェロの下田さんにも加わっていただき、今年度も「アウトリーチコンサート」が開催されました。懐かしい日本の童謡・唱歌を四季にちなんで演奏してくださいました。途中、おしゃれな曲だなと思うと、なんと、校歌を全く違うアレンジで演奏されていたのが大変新鮮でした。また、「秋」の曲として誰もが知ってる『どんぐりころころ』の作曲者、梁田 貞（やなだ ただし）氏は、萱瀬中学校の校歌の作曲者だったという事実を三好先生に教えていただき、驚きと同時に大変誇らしく思いました。大切に歌っていきたいですね。他にも春は『花』、夏は『うみ』、冬は『たき火』等の演奏を聴き、心が癒されるとともに、会場を巻き込んだ楽しいお話に惹（ひ）き込まれ、アンコールが終わっても、いつまでも聴いていたいと思えるすばらしいコンサートでした。このような機会を設けてくださった萱瀬地区青少年健全育成協議会及び萱瀬地域活性化協議会の皆様に感謝申し上げます。なお、健全協の柿平会長様にもお越しいたいただき、コンサート終了後、1年生への「反射たすき」の贈呈式も行いました。ありがとうございました。

寒くなりましたが、萱瀬中の生徒たちは、他にも様々なことを学んで頑張っています。

☆保健体育科では・・・「剣道」（3年生）と「空手」（1年生）を学びました。



空手は崎村先生にご指導いただきました。一斉に同じ構え。かっこいいです。



剣道は永岡先生にご指導いただきました。さすが3年生。回を重ねるごとに上達していました。

☆家庭科では・・・「調理実習」でピザを作りました。（2年生）



生地はサクサク。トッピングはこのボリューム。校長室にもおすそ分けがありました。おいしかったです。ごちそうさまでした。

12月12日（金）大村市学力調査実施（1,2年）



市の学力調査は、毎年、東京書籍「標準学力調査」を用いて実施されます。現時点での自分の学力を十分発揮できるよう、歩みを止めない継続した学習を期待しています。